

平成 30 年度広島県教育奨励賞受賞者

○ 個人

※年齢は平成 31 年 1 月 31 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功績等
学校教育	いちやまきょうこ 一山恭子 (47 歳)	三次市立田幸小学校 教諭 (三次市)	算数科及び総合的な学習の時間における課題発見・解決学習を中心として、児童の主体的な学びを実現させるとともに、地域の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの研究を進め、自校の取組に還元するなど、地域、保護者から信頼される学校づくりに貢献した。
	メッセージ	この度は、身に余る賞を頂き大変恐縮しております。これまで、学校と地域が一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」を目指してまいりました。この賞は、取組を進めてきた本校の職員、児童、保護者・地域の皆様と共に頂いたものであると思っております。 今後も地域の方と共に地域の特色を生かしたカリキュラムを創造し、児童の主体的な学びの実現に努めてまいります。	
	おかだ 岡田 さつき (35 歳)	福山市立水呑小学校 教諭 (福山市)	「学びの変革」パイロット校事業のパイロット教員として、国語科と総合的な学習の時間を中心とした研究を推進するとともに、中堅教諭等資質向上研修等で自らの実践を発表するなど、「課題発見・解決学習」、「育成する資質・能力」の普及に貢献した。
	メッセージ	この度は、このような素晴らしい賞を頂き、身に余る光栄です。御指導くださった先生方、共に研修に励んだ同僚の先生方、一緒に学んだ子供たち、保護者、地域の皆様に深く感謝しております。 教師も児童も「学びが面白い」と感じ、熱中する授業、深く考える授業を目指して、挑戦を続けていきたいと思っております。今後とも御指導のほど、よろしくお願い致します。	
	たか 高 淵 千香子 (47 歳)	庄原市立庄原小学校 教諭 (庄原市)	「学びの変革」パイロット校事業の研究担当教員として、児童の主体的な学びを促す「課題発見・解決学習」の単元開発を行い、平成 29 年度には「授業の匠」に認証されるなど、県全体への普及に貢献した。
	メッセージ	この度は、このような素晴らしい賞を頂き大変恐縮しております。御指導いただいた先生方、共に研究を推進してきた先生方のおかげと心より感謝しております。これまで、「児童の学びをつなぐ」ことを大切に単元開発、授業改善に取り組んでまいりました。 今後も、主体的な学びを促す単元開発、児童自らが学びを深め発展させていけるような授業の実現に向けて、研鑽に努め、微力ながら本県の教育推進に尽力してまいります。	
	ほそ 細 川 裕 香 (45 歳)	呉市立呉中央小学校 教諭 (呉市)	平成 29 年度「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」の外国語教育研究推進リーダーとして、新学習指導要領の内容を踏まえた小学校の外国語教育のカリキュラムを作成し、その成果を広く発信するなど、県全体への普及に貢献した。
	メッセージ	この度は、身に余る賞を頂き、深く感謝しております。この賞は、これまでに御指導をいただいた先生方を始め、本校教職員、児童、地域の皆様と共に頂いたものであると思っております。 今後も、自分の考えや気持ちを伝え合う楽しさを味わい、主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする児童の育成に向けて一層精進し、本県の英語教育の推進に尽力してまいります。	

平成 30 年度広島県教育奨励賞受賞者

※年齢は平成 31 年 1 月 31 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
学校教育	くわ 　　はら 　　ち 　　え 葉 　原 　知 　恵 (50 歳)	三次市立十日市中学校 教諭 (三次市)	教科に関する高い専門性と指導力を有し、生徒の実態把握を的確に行いながら、生徒の学ぶ意欲を引き出すなど、生徒に基礎的・基本的な学力を着実に付けるとともに、専門研修講座でその実践を報告するなど、県内の家庭科教育の充実に貢献した。
	メッセージ	<p>この度はこのような素晴らしい賞を頂き、身に余る光栄に存じます。これまで出逢った生徒たち、そして御指導いただいた教育委員会の皆様、支えてくださった先生方、保護者、地域の皆様に心より感謝しております。</p> <p>「今日学んだことが、今日から生かせる」ような、家庭科の学びを目指して、これからも一層努力を重ねていきたいと思ひます。ありがとうございました。</p>	
	すが 　　たか 　　ゆき 菅 　隆 　幸 (41 歳)	福山市立城北中学校 教諭 (福山市)	「学びの変革」パイロット校事業のパイロット教員として、全教科・全領域の単元開発・授業改善の実践を進めるとともに、特に数学科の授業を通して生徒に資質・能力を身に付けさせ、その姿を学校内外に積極的に発信するなど、県全体への普及に貢献した。
	メッセージ	<p>この度は、このような賞を頂き、ありがとうございました。「学びの変革」パイロット校として、校区全体の取組が評価されたものと思っております。城北中学校そして、校区の小中学校の先生方 1 人 1 人の熱心な実践の積み重ねと子供たちへの熱い思いは、私自身多くの刺激を頂き、自らの実践につなげることができました。これまで関わっていただいた先生方に感謝するとともに、今後も取組を前進させていきたいと思ひます。</p>	
	すが 　　き 　　まき 　　お 鈴 　木 　晶 　雄 (52 歳)	東広島市立高屋中学校 教諭 (東広島市)	平成 29 年開催の第 78 回中国中学校駅伝競走大会において、監督する陸上部を史上初の男女同時優勝に導くとともに、同年 12 月開催の全国中学校駅伝競走大会では、男子チーム 2 位、女子チーム 18 位に導くなど、生徒の競技力向上に貢献した。
	メッセージ	<p>この度は、すばらしい賞を頂き、身に余る光栄です。私は、多くの出会いの中でたくさんの事を学ぶ機会を頂きました。その一つの教への積み重ねが今につながっていると強く感じています。これからは生徒が意欲的に学校生活を送れるよう、微力ながら尽力していきたいと思ひます。今後とも生徒の成長に携われる時間を大事にし、向上心を持ち、食欲に学んでいきたいと思ひます。指導の程、よろしくお願ひします。</p>	
	はま 　　はら 　　みつ 　　のぶ 濱 　原 　光 　伸 (51 歳)	尾道市立吉和中学校 教諭 (尾道市)	生徒指導主事として生徒指導規程に基づいた積極的な生徒指導に取り組み、小中連携や関係機関との連携、保護者への周知等、組織的な生徒指導を推進するとともに、それらの取組を広く発信するなど、生徒指導の推進に貢献した。
	メッセージ	<p>この度は広島県教育奨励賞を頂きありがとうございます。教育奨励賞受賞に際し、私が生徒指導の実践で、大切にしていることを 3 つ紹介したいと思ひます。1 つ目は「関係機関との連携」、2 つ目は「職員間の連携」、3 つ目は「家庭訪問」です。生徒指導主事として地域・学校・家庭をいかに結びつけて、生徒の心に寄り添う指導を充実させるかが大切だと考えています。今後も広島県の生徒指導に役立てるよう、実践を進めて行きたいと思ひます。</p>	

平成 30 年度広島県教育奨励賞受賞者

※年齢は平成 31 年 1 月 31 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
学校教育	いの 井 上 奈穂子 (42 歳)	県立広島南特別支援学校 教諭 (広島市)	平成 27 年度に広島県立教育センター教員長期研修で研究した内容を更に深め、第 50 回から第 52 回全日本聾教育研究大会及び中国・四国地区聾教育研究大会で発表を行い、県内だけでなく県外においても高い評価を得るなど、聴覚障害教育に関する研究を推進した。
	メッセージ	<p>本校では、「聴覚障害児の思考力を育てる指導の在り方」を研究テーマとし、県立教育センターでの研究成果を基に教育実践を重ねています。この度の受賞は、御指導を頂いた先生方を始め、同僚や関係の皆様と共に頂いた賞であると受け止めています。聴覚障害教育は、決して一人でできるものではなく、特効薬もないと感じています。常に児童・生徒と向き合いながら、日々、指導力の向上に努めていく所存です。</p>	
	かわ 川 崎 巧 (49 歳)	県立熊野高等学校 教諭 (熊野町)	高等学校文化連盟全国美術・工芸専門部の事務局長として、全国の高校生の文化活動を広く支援し、高校生の健全な育成に資するとともに、本県における高校生の文化活動の充実を通して、芸術文化活動の推進に貢献した。
	メッセージ	<p>第 40 回全国高等学校総合文化祭（2016 ひろしま総文）美術・工芸部門代表委員に引き続き全国事務局長を担当しました。広島県高等学校美術連盟の先生方、勤務校を始め諸先生方の御支援に大変感謝しています。「正解のないものに自分なりの考えを持つ」美術表現は 21 世紀に求められる力です。生徒が作品制作を通して試行錯誤し、完成・評価されることで自信をつけ、豊かな人生を送り、平和な世界を築くことを願って、今後も尽力いたします。</p>	
	さい 齋 藤 千 文 (49 歳)	県立世羅高等学校 教諭 (世羅町)	介護福祉士の養成に向けて、専門性の高い教科指導や I C T を活用した授業実践を行った。生徒がサービス接遇実務検定の資格を取得することを通して身に付けた知識と技能を活用し、地域の中中学生を対象とした継続的な取組を行い、高い評価を得た。
	メッセージ	<p>「即戦力として地域で活躍できる社会人を育成したい」という思いで世羅高等学校生活福祉科の生徒の指導に携わってまいりました。現場実習や交流行事、小中学生へのマナー指導など、地域に向いて生き生きと活動する生徒の姿が、私の教育活動の原動力になっています。今回頂いた賞は、生活福祉科生徒の素晴らしい活躍とその指導に当たってこられた先生方の取組が評価されたものだ大変嬉しく思っています。</p>	
	ふく 福 本 伊都子 (49 歳)	県立広島国泰寺高等学校 教諭 (広島市)	教育研究部主任として、「学びの変革」の取組に深く関わり、授業と評価の改善のための教育研究を進め、改善策を提案し、その推進のために、指導教諭等と共に「主体的で深い学び」を成立させる授業づくりとルーブリック開発などを先導した。
	メッセージ	<p>この度は身に余る賞を頂き、心より感謝申し上げます。 広島国泰寺高等学校では「学びの変革」に全教職員で取り組んでおります。 大きな教育改革が進む中、これからもみなさまと力を合わせて、未来を担う生徒たちの教育の推進に尽力してまいります。</p>	

平成 30 年度広島県教育奨励賞受賞者

※年齢は平成 31 年 1 月 31 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
学校教育	まつ しま こう じ 松 島 浩 司 (52 歳)	県立賀茂高等学校 教諭 (東広島市)	大学院派遣研修等で培った高い教科指導力を生かし、積極的に研究授業を行うとともに、「授業の匠」として本県の英語教育の推進に貢献した。外国語（英語）教育強化地域拠点事業において、研究の中心的な存在として活躍した。
	メッセージ	<p>昨年度「授業の匠」に認証していただきました上に、この度かような栄えある賞を頂いたことはこの上ない喜びであり、衷心より御礼申し上げます。文部科学省の指定事業で成果を挙げることができましたのは、本校はもとより、連携小・中学校の先生方の協働力の賜物です。関係の先生方に深く感謝申し上げます。今後も「現場教師は教育実践者であるとともに教育研究者であれ。」という気持ちで生徒に向き合っていく所存です。</p>	
体育・スポーツ	いわ なり とも かず 岩 成 智 和 (42 歳)	(公財)広島県サッカー協会 技術委員, 2 種委員 (広島市)	平成 28 年に国民体育大会サッカー少年男子の監督に就任し、28 年度は優勝、29 年度には準優勝するなど、本県のサッカー競技の競技力向上に貢献した。また、サンフレッチェ広島のジュニア監督、ユースコーチ等として、サッカー選手を目指す多くの児童生徒を指導し、プロのチームで活躍する選手を輩出するなど、高い指導力を発揮している。
	メッセージ	<p>国体広島県少年チームの監督として、3 年間関わらせていただく中で、「優勝」「準優勝」という好成績を収められたのには、選手のハードワークはもちろんのこと多くのスタッフの方々、所属チームの指導者の皆様の日頃の取組の成果だと思えます。また、選手がサッカーを始めた時から育成に携わっていただいた方々、サポートいただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。引き続き、広島県サッカーの発展のためにお手伝いさせていただければと考えております。</p>	
	ぼく せん み 朴 善 美 (36 歳)	(一社)広島県ホッケー協会 元強化委員 (広島市)	平成 27 年に広島県ホッケー協会の強化委員に就任し、国民体育大会の連続優勝に貢献するなど、本県のホッケー競技の競技力向上に貢献した。また、小中高生にホッケー教室での体験指導や実技指導等を行い、ジュニア選手へのホッケー競技の普及や競技力の向上に尽力した。
メッセージ	<p>年の初めにこのような大きな賞を頂くことができるととても嬉しく思っています。広島県のスポーツの発展のために少しでもお役に立てるよう頑張っています。今後ともコカ・コーラレッドスパークスホッケー部への応援をよろしく願いいたします。</p>		

平成 30 年度広島県教育奨励賞受賞者

※年齢は平成 31 年 1 月 31 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功績等		
教育行政	おかの まさし 野 将 士 (51 歳)	県立歴史博物館 主任学芸員 (福山市)	菅茶山とその関係者が遺した膨大な資料の整理・調査研究を行い、平成 26 年の国重要文化財の指定に貢献した。 また、過去 2 回の企画展開催や菅茶山関係資料の常設展示に当たり、展示の企画・構成を担い、来館者を多数獲得するとともに、学校や各種団体見学の解説や火おこしなどの体験学習への対応、学校・団体からの派遣要請に積極的に取り組むなど、教育行政の充実に貢献した。		
	メッセージ	菅茶山に関わる資料は御子孫、諸先輩方、各関係者の思いや努力によって重要文化財に指定されました。広島県の宝として、今後も適切に保存管理を行うとともに、調査研究をより一層深め、その成果を昨年リニューアルした常設展示室を始めとして、全国へ発信していきたいと考えています。地元自治体や関係団体等と協力しながら、後輩に、子供たちに伝えていきます。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。			
	はな もと きたし 花 本 哲 志 (52 歳)			県立歴史博物館 主任学芸員 (福山市)	頼山陽とその一族の貴重な資料群の調査・研究及び常設展示・企画展示に精力的に取り組む、国重要文化財の指定を視野に入れた集中的な資料作成を行い、中心的な役割を担っている。 (公財)頼山陽記念文化財団との共同事業を進めることによる活動の多様化や、財団を通じた資料館活動の広報の拡大を図っている。また、学校へ「頼山陽書道展」などの学習プログラムや学校活動の発表の場を提供するなど、教育行政の充実に貢献した。
	メッセージ			この度は、思いがけない受賞に大変恐縮いたしております。身に余る光栄です。これまで温かく見守りながら支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。 頼山陽たちが残してくれた文化遺産を、次代を担う子供たちにどう伝えていくのか。自問自答しながら、学びと文化の種を育てていくことに精魂を傾けたいと思います。良き語り部となれるよう研鑽を怠らず、日々精進してまいります。	

○ 団体

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	団体名 (所在地)	功績等
学校教育	海田町立海田小学校 校長 大橋 綾子 (海田町)	「海田町グローバル人材育成事業」の拠点校として、海田町内小中学校が連携した小学校外国語活動・中学校英語におけるカリキュラムの作成や ICT 教材、ワークシート等の作成や活用方法の研究を積み上げてきた。 平成 26 年度教育課程研究指定校事業の指定を受け、英語表現に触れる頻度を高めるため、モジュール型時間割によるカリキュラムの研究を行うとともに、県外からの視察を積極的に受け、研究成果を広く普及している。
	メッセージ	この度は、栄えある賞を頂き光栄に存じます。本校のみならず、一緒に取り組んできた海田町全ての教職員・児童生徒と共に受賞を喜びたいと思います。これからの時代を生きていく子供たちには、人とより良く関わり、未来を創造していく上で、外国語を使う機会が必ず増えてくるはずで。今後も子供たちに、生きて働くコミュニケーションの力をつけていくために、教職員一同研鑽を続けてまいります。
	メッセージ	

平成 30 年度広島県教育奨励賞受賞者

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
学校教育	<p>熊野町立熊野第一小学校 校長 栗原 築波 (熊野町)</p>	<p>熊野町の特色である書道を中心に地域の伝統文化を生かした取組を継続的に行ってきた。 「くまいちスタイル」を提唱する等、児童が書写の学習で身に付けた力を、各教科等の学習で生かすことができるよう指導の工夫を行った。また、授業スタイルをまとめ作成した「熊一小授業スタンダード」や授業評価の基準となる「くまいち授業観察カード」の活用を通して、組織的な授業改善を図った。これらの取組の成果は県内外で高く評価され、教育関係者等の多くの視察を受けている。</p>
	メッセージ	
		<p>この度は、栄えある賞を頂き、誠に光栄に存じます。本校は、書道を中心とした熊野の伝統文化を教育活動に生かす中で、学習規律や生活態度を整える事、静かで落ち着いた学習環境をつくり出す事を全教職員で共通認識を図りながら取り組んでまいりました。関係者の皆様に感謝するとともに、これを励みとして、児童・保護者・教職員・地域が一体となってさらなる向上を目指してまいりたいと思います。</p>
	<p>福山市立霞小学校 校長 高橋 裕美子 (福山市)</p>	<p>平成 29 年度から広島県オリンピック・パラリンピック教育推進事業における広島県コンソーシアム推進校の指定を受け、オリンピック・パラリンピック教育を実施することで、児童のスポーツに対する学びを深め、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進するための授業モデルの開発や教材・教具の工夫に取り組んできた。 平成 30 年 8 月には、全国小学校体育科教育研究集会で「深い学びを実現する体育科の授業づくり」について実践発表をした。</p>
	メッセージ	
		<p>この度は、栄えある賞を頂き、誠にありがとうございます。本校は、主体的に学び続ける児童の育成を目指し、体育科の授業改善を進めるとともに、スポーツ志向や障害者理解等のオリンピック・パラリンピック教育の視点をカリキュラム・マップに位置付け、全教育活動を通じて、資質・能力の育成を図っています。支えてくださる皆様に感謝し、今後も更なる実践を積み重ね、「子ども主体の学び」に向けて取り組んでまいります。</p>
<p>尾道市立日比崎中学校 校長 宮里 浩寧 (尾道市)</p>	<p>組織的・継続的に授業改善を推進し、生徒の主体的な活動の質と量を高めることを通して、生徒の学力の定着を図った。 特に、研究テーマを「主体的な学びを促す探究学習の創造」とし、日々の授業の中で「解決したい」、「達成したい」学習課題を設定し、グループで練り直させ、思考したことを全体へ発表するという「日比崎中学校探究授業スタイル」を定着させた。 また、研究公開や本の執筆協力等、取組成果の普及に積極的に努めてきた。</p>	
メッセージ		
	<p>この度は栄えある賞を頂き、光栄に存じます。本校は昨年までの 2 年間「学びの変革」パイロット校事業の指定を受け、課題設定と少人数班によるグループ活動を中心に探究学習を進めてきました。この取組が日々の生徒の主体的な姿に繋がり、多くの場面で生徒の成長を感じることができました。今回の受賞を生徒・教職員・保護者・地域の皆様全員で喜び合い、今後も目標を高くかかげ誇りある学校づくりを進めていきます。</p>	

平成 30 年度広島県教育奨励賞受賞者

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
地域文化	いせじんじやくぐらだん 伊勢神社神楽団 (廿日市市)	江戸時代から踊り継がれ、戦後、一度は途絶えた原神楽を、当該団体が昭和 40 年代に復活させ、平成 24 年には広島県無形民俗文化財に指定された。伊勢神社神楽団員の子供舞子連中に演舞指導をしており、次世代への継承にも力を入れている。また、神楽の全国大会等にも参加し、伝統芸能の伝承、地域文化振興に貢献している。
	メッセージ	
		この度は30年度広島県教育奨励賞に選んでいただき誠にありがとうございました。古くから伝わる神楽が一度は絶えた時期もありましたが、地域の多くの方が影になり日向になり、御指導し育ててくれました。今後は神楽文化の発展と後世に伝わる使命をより一層努力を重ね精進していきたいと思ひます。
	つだかぐらだん 津田神楽団 (廿日市市)	「安芸十二神祇神楽」の一つで、旧佐伯郡佐伯町内で旧規をとどめる数少ない神楽である津田神楽の保存活動に尽力し、平成 20 年には広島県無形民俗文化財に指定された。また、広島市西区の障害施設、託児所、一般団体等において数十年にわたり神楽を披露し、文化財を通じた地域への貢献活動に尽力している。
	メッセージ	
	前夜祭の神楽、好きで始めて、それが途切れた時の淋しさ、継承するためには団員相互の和が必要と先輩から教えられ、その和とは「人が人を思いやる心」と気付かされ、その心で継承してきました。今回の受賞はその和を強いものにする一つの糧となるものと思ひます。よごろの神楽を見に来た人の思い出、その神楽を舞った団員相互の中に人が人として生きるとの認識を添え今後も団員相互で継承し続ける思いでおります。	
社会教育	尾道市家庭教育応援 プロジェクトチーム 「すまいるぱれっと」 代表 緒方 恵理子 (尾道市)	尾道市内の保育所・幼稚園・小中学校・子育てサロン等において、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を実施し、子育てに関して「自ら気づき、学ぶことのできる力」を高めるとともに、子育て中の保護者の仲間づくりができたり、顔見知りが増えたりすることで、コミュニケーションの輪が家庭から地域に広がっていくことに尽力した。
	メッセージ	
	私たちは、「子育て応援団」として『親の力』をまなびあう学習プログラム』の講座実施に当たって、主役はあくまでも参加者であることを基本に、自ら気づき合い、共感するという双方向の関係を築くお手伝いを継続してきました。この度このような栄えある賞を頂き感激もひとしおです。今後も、尾道の親子の笑顔と健やかなる成長を願って活動をしていきます。	

個人 17 名 7 団体